

〈解答〉

- ① 1 ① しょさい ② なが ③ 時期 ④ 暗黒
- 2 下一段活用・終止形 (完答)
- 3 ウ
- 4 竹
- 5 (品詞名) 副詞 (かかる文節) なったのだと (完答)
- 6 オ
- 7 a ア b カ (両解)

配点 各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 「書齋」とは「書物を読んだり、物を書いたりするための部屋」のこと。
- ② 「眺」の音読みは、「チョウ」であり、「眺望(遠くを見わたすこと。また、見わたしたながめ。)」などの熟語がある。
- ③ 「時期」とは、「何かをすべきとき、あるいは、何かをすることを期待されているとき」のことであり、「時期尚早(その事を実行するには、まだ時が早過ぎること。また、そのさま。)」などの四字熟語としても使われる。
- ④ 「暗黒」とは、「真つ暗なこと。全く光のささないこと。」という意味。
- 2 「入れる」は「ない」をつけると「入れない」となり、「ない」の直前がエ段になることから、下一段活用の動詞であることがわかる。さらに「入れる」は接続助詞「と」に続いていることから、終止形であることがわかる。
- 3 「包」という漢字のつくりそれぞれ部首をつけると、ア「胞」、イ「砲」、エ「泡」、オ「飽」という漢字が完成する。ウのみ漢字を完成させることができない。
- 4 空欄の中に入れる漢字として最も適当なものは「竹」である。「破竹の勢い」と同じような意味を持つ言葉には、「飛ぶ鳥を落とす勢い」もある。
- 5 「ようやく」は、用言を修飾するために用いられる「副詞」。この文で「ようやく」がかかっている文節は「なったのだと」である。
- 6 本文中の「れる」は、受け身の助動詞「れる」である。選択肢はそれぞれ、アは動詞「荒れる」の活用語尾の「れる」、イは尊敬の助動詞「れる」、ウは自発の助動詞「れる」、エは可能の助動詞「られる」の一部、オは受け身の助動詞「れる」であるため、オが適当である。
- 7 「ます」「です」「ございます」などは丁寧語である。丁寧語とは丁寧な表現によって、聞き手や読み手に対する敬意を示す敬語である。丁寧語とは丁寧な表現によつて、聞き手や読み手に対する敬意を示す敬語である。